

Japan Open Policy Forum
オープンポリシーミーティングでの
Open Micのご意見等に対する
対応状況について
Policy WG

2017年11月29日
ポリシーWG



このスライドはクリエイティブ・コモンズ 表示 - 改変禁止 4.0 国際 ライセンスの下に提供されています。
ライセンスの内容を知りたい方は<http://creativecommons.org/licenses/by-nd/4.0/>でご確認ください。

はじめに

- 本資料では第26回～第31回オープンポリシーミーティングのOpen Mic及び事後アンケートで頂いたご意見、ご要望に対するポリシーWGでの対応についてご報告いたします。
- いただいたご要望、ご意見を下記のカテゴリに分け、それぞれの対応状況についてご説明いたします。
 - 運営について
 - 参加者について
 - 資料について

Japan Open Policy Forum

Policy WG

ご意見・ご要望と対応状況

運営について（1）

ご意見・ご要望	対応
<p>ボトムアッププロセスは重要だと思っているけれど、アジア太平洋地域はポリシー提案が少ない。日本からポリシー提案が出てくるよう、ポリシープロセスの盛り上げをポリシーWGにお願いしたい。ポリシープロセスの見直しを含めて、検討をお願いしたいと思う。(28回)</p>	<p>日本国内に限らずAP地域においても、必要に応じて誰でもポリシー提案が可能であることを今後とも周知してまいります。 またAPNICのPDPの読み下し等、現状のポリシーの理解と問題点の洗い出しを行う試みを今後の課題として検討させていただきます。</p>
<p>ポリシーWGのチェア以外のアクティビティがもっと見られるとよかった。ポリシーWGメンバーはチェアの判断に対して意見が言える立場なので、ポリシーについて一家言あるところを見せていただけると安心できる(29回)</p>	<p>司会や発表など、ポリシーWGメンバー内で持ち回りで実施するよう運営を変更いたしました。</p>

運営について（2）

ご意見・ご要望	対応
<p>JANOG等、オペレータのコミュニティとのコラボレーションは最近考えているのか。ARINではそれなりに効果があるような話を聞く。レジストリだけで議論していると、オペレーターとの足並みがそろわないということもあるだろう。そういう面も考えてほしい(29回)</p> <p>ARIN/JANOGでは日を分けるから人が入れ替わるのであれば、同日に開催するのはどうか(29回)</p> <p>6月の参加者はさみしいですね。INTEROPやJanogとの共催は難しいのでしょうか? (28回)</p>	<p>ご指摘の通り裾野を広げる活動の必要性は認識しており、JANOGやENOG,QUNOG等のNOGにおいて周知広報活動を実施しております。</p> <p>しかしNOGへの参加者とポリシー関連業務を行っている方が必ずしも一致しないこと、また特にJANOGについては開催期間がまちまちなことや会場ファシリティの確保が困難なことなど、コラボレーションがしにくい状況にあります。</p> <p>周知広報活動については、引き続きNOG及びNOG以外の組織（ISOC-JP,JAIPA等）とのコラボレーション含めて実施してまいります。</p>

運営について（3）

ご意見・ご要望	対応
<p>JPOPFが作られてからは、ポリシー以外の話はすべてシャットアウトされているような気がする。純化しているのは、JPOPFなのではないかと思う。昔に戻るべきとは言わないが、間口は広げていかないと人は減っていくし、ポリシー議論がなくて破綻していると思う。たとえば、テクニカルな議論をするセッションを作るなどすれば、そういう面に惹かれてくる人もいないかもしれない。そこを直して、多少のテクニカルプログラムでも盛り込んだほうがいいのかでは(29回)</p> <p>狭くやるというのは大事。広げていくと皆同じになってしまう。やることが無くなったら休止すればよい。会議としては狭くても、参加している人はクロスしている。プログラムや開催日程を工夫することは、組織の存続を目的としているようで反対(29回)</p>	<p>ご指摘頂いた通りプログラムの間口を広くする活動を実施しておりますが、あまりにアドレス管理業務等からかけ離れた内容は本来の会の目的である「ポリシー提案・議論の場」がぶれるため、テクニカルセッションの実施は現段階では考えておりません。</p> <p>現在、初心者向けのプログラム(例：PDPの説明や周辺の最新トピックの共有)と、取得した後のIPアドレスの運用に関係するプログラム(例：WHOISやIPv4の移転)など、初心者からアドレス管理実務者のみなさまに興味を持っていただけるプログラム作成を心がけております。</p>

運営について（４）

ご意見・ご要望	対応
<p>JPOPMの本来の役割は維持するべきと思う。他の会議とのコラボレーションはARINの例を見ても効果には疑問があるが、JANOGの枠をもらって紹介するなど、相互連携をとるようなことはいいかなと思う(29回)</p> <p>自分も同じ印象を受けている。ポリシーはJPNICのようなレジストリのためにあるのではなく、インターネットユーザのためにある。ただ、ユーザの希望を聞くだけでなく、全体のバランスを考える必要がある。もっと日本のオペレーターに参加していただけるのがいいと思う。実際にインターネットを動かしている人の意見を入れられるようになるといいのでは(29回)</p>	<p>(前項と同様の回答となります)</p> <p>ご指摘頂いた通りプログラムの間口を広くする活動を実施しておりますが、あまりにアドレス管理業務等からかけ離れた内容は本来の会の目的である「ポリシー提案・議論の場」がぶれるため、テクニカルセッションの実施は現段階では考えておりません。</p> <p>現在、初心者向けのプログラム(例：PDPの説明や周辺の最新トピックの共有)と、取得した後のIPアドレスの運用に係るプログラム(例：WHOISやIPv4の移転)など、初心者からアドレス管理実務者のみなさまに興味を持っていただけるプログラム作成を心がけております。</p>

運営について（5）

ご意見・ご要望	対応
<p>日本のフォーラムの役割は、すごく重要。途上国から提案が上がってくるが、地域の都合が大きいところがある。そういうことが繰り返されると、インターネットが変になってしまふ気がする。このような提案に対して、議論を適切に誘導するのも日本の役割と最近感じるので、そのような役割も担ってほしい(29回)</p>	<p>JPOPFのスコープは日本国内のポリシー策定のため、例えばAPNICにおけるポリシー提案などについてはスコープ外となります。ただし、日本国内のポリシー議論に対する意見を海外に発信することや、逆に海外でのポリシー動向のフィードバックなどについては、これからもできる範囲で実施していく考えです。</p>

運営について（6）

ご意見・ご要望	対応
<p>待っているだけでは、提案は出てこないと思います。WGで能動的に提案発掘を実施しては、と思います。ボトムアップポリシープロセスの継続的な運営は、現在のインガバ、マルチステークホルダによるインターネット運営の根幹の一つです(26回)ポリシー提案が行われていないことが気になりました(30回)</p>	<p>第32回、33回において、ポリシーWG内でJP-PDP文書の読み込みを実施し、変更が必要な点についてポリシー提案を実施させていただきました。</p>
<p>前半のイントロが長すぎる。詳しいポリシー解説は不要(31回)</p>	<p>第32回より二部構成とし、PDPの解説等初心者向けのプログラムを1部に集めました。</p>
<p>聞く時間が長い。ディスカッションの時間が多くないと、長時間集中して聞き続けられない(31回)</p>	<p>余裕を持ったプログラム構成をこころがけ、可能な限り十分な議論の時間を設けていきます。</p>

※ 括弧内の数字はオープンポリシーミーティング開催回です

運営について（7）

ご意見・ご要望	対応
プログラムの休憩時間が間違っています(29回)	記載ミスがあり大変失礼いたしました。公開時のチェックをこころがけます。
中継は15分おきに広告が入ってうるさい(31回)	配信プラットフォームをYoutube Liveに変更し、広告挿入の問題は解決いたしました。

POLICY W/G

参加者について（1）

ご意見・ご要望	対応
<p>どうしてこんなに参加者が少ないのか。もっと出来ることはないだろうか。少し気になっているところである。(28回)</p> <p>6月の参加者はさみしいですね。INTEROPやJanogとの共催は難しいのでしょうか?(28回)</p>	<p>ご指摘の通り参加者を広げる活動の必要性は認識しており、JANOGやWNOG,QUNOG等のNOGにおいて周知広報活動を実施しております。また引き続きNOG以外の組織（ISOC-JP,JAIPA）とのコラボレーション含めて実施してまいります。</p>
<p>若い人を呼び込むのは、ポリシーWGのチャーターに含めてほしい(29回)</p>	<p>上記のように周知広報活動については引き続き進めてまいります。若い人を呼び込むこと自体を目的とすることは本来の趣旨とは異なるため、チャーターに含めることは考えておりません。</p>

参加者について（2）

ご意見・ご要望	対応
<p>参加するメリット、誰でも提案をすることができる、ということが、個人や組織にとってどうメリットにつながるることができるのか、分かりづらいのでは(28回)</p>	<p>ボトムアッププロセスが重要であることが重要である点については十分認識しており、ポリシー提案の有無にかかわらずJPOPM自体は継続していく考えです。</p> <p>参加組織に対するメリットについては、具体的な内容、発信方法等含めて今後の課題として検討いたします。ご意見等あれば是非お聞かせください。</p>

POLICY WU

資料について

ご意見・ご要望	対応
<p>OPM中に用語集参照させていただきました。(27回)</p> <p>用語・リンク集のテキストありがとうございました。事前知識として覚えます。(27回)</p> <p>用語集は良いと思います。事前資料公開も助かります。(27回)</p>	<p>ありがとうございます。 用語の抜け漏れ等ありましたらご指摘ください。</p>